

「包む1年」

～風呂敷のごとく～

エゼキエル 34:15, 16 ヨハネ 13:34 ～ 37

■ 風呂敷とは…。

古くから様々な用途として使われてきました。贈答品を渡す際は、直接手で持って渡すことは失礼にあたるので、風呂敷に包んで持参するのが礼儀とされてきました。日本独特の美しい文化ですね。風呂敷は包むものに合わせて形を変えることができ、その中のものをより引き立たせることができます。中身のものをきちんと理解することが包む際にはとても大切です。

■ 使い方を知らないインディアンが車を買ったお話

あるインディアンが油田を発見し大金持ちになりキャデラックを買いました。そのキャデラックは生涯壊れることはありませんでした。どうしてでしょうか？このインディアンはエンジンをかける術も知らず、馬に車を引かせていたのです。正しい使い方がわからなかったからです。確かに走りはしましたが、少し違いますよね…。このことは笑い事ではなく、私たち自身にも置き換えることができます。自分自身を理解しないために正しいことが正しくできないことは多々あるのではないのでしょうか？

■ 私たちは正義を持っていない

自分が正しいと思っている正義を相手にも押し付けてしまう…。これは注意しなければなりません。私たちは「正義」を持っていません。正義はイエス様だけにあります。私たちはイエス様の正義を行うものであって、人が自分に果たすことではありません。包む一年といいました。包むとは愛することです。愛するためには、愛されたことを知る必要があります。イエス様に愛されたように愛するとき人を包むことができるのです。

■ ① 受けたように包む

リンカーン大統領は自分とは逆の立場の人たちをあえて要職におきました。それは相手がどう私を評価しているのではなく、自分がその人をどう思うか。その価値観で人事を行っていたそうです。リンカーン大統領は否定的な人でしたが神様の愛を受け取ったときから変えられたのです。私たちを創った方の評価を正しく受け取った人は相手の評価など気にならなくなるの

です。神様から受けた愛で相手を包むなら、必ず何かかわるはずですよ。

■ ② 芯を失わない

その人に合わせることは自分の芯を無くすということではありません。イエスキリストの価値観のどの部分があなたには与えられているのでしょうか？どの価値観が芯となっているのでしょうか？それは皆違います。自分の芯をしっかりと持った上で相手のことを理解することが大切です。

■ ③ ベストを尽くす

「正義」では人は変わりません。御霊の実には正義はありません。正義は振りかざしてしまいます。愛から始まることでなければ人は変わることはできません。愛は忍耐ですから私たちはベストを尽くすことが大切です。その為に「普通は〇〇だよ…。」そう思ってしまった時点で自分の価値観を相手に押し付けることになるのです。そんな価値観を取り払い、神様に与えられた信念を持って自らでベストを選んでいきましょう。

最後に